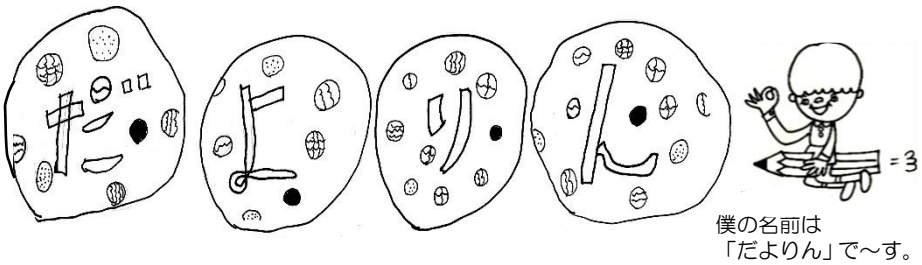


支援連携だより R4・5号
令和4年 12月 9日
小田原養護学校 支援連携部
題字：高 A2年生徒作品

日に日に空気が冷たくなっていきますね。落ち葉が、風に舞っているのを見ると、冬の気配を感じます。さて、今回は、前回の続きで、インクルーシブ教育について特集します。

特集 神奈川県のインクルーシブ教育

～「かながわ特別支援教育推進指針」から

今回は…

今年 3 月に神奈川県から示された「かながわ特別支援教育推進指針」から、神奈川県のインクルーシブ教育のこれからについてみてみましょう。

かながわの支援教育とは

かながわのインクルーシブ教育の推進

＝すべての子どもができるだけ同じ場で共に学び共に育つことをめざす

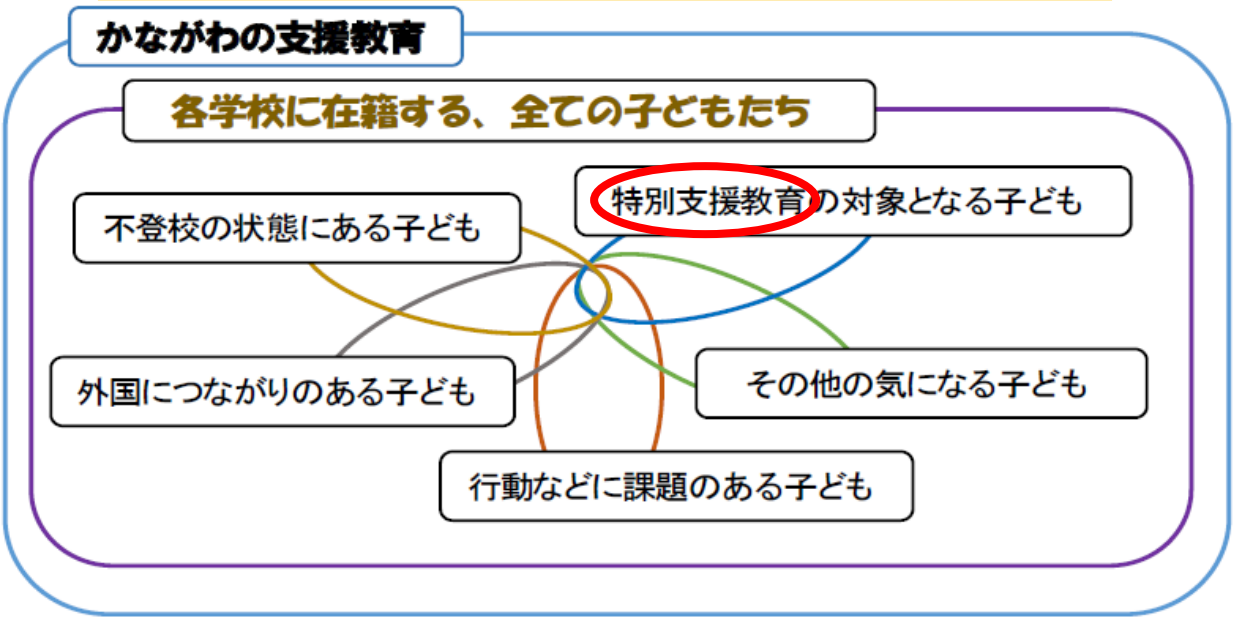


図１　かながわの支援教育

【「かながわ特別支援教育推進指針」P１】

かながわの特別支援教育がめざすもの

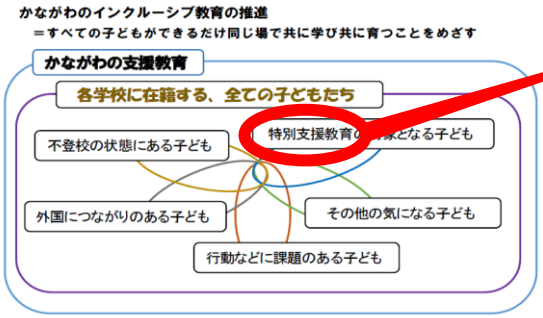


図１　かながわの支援教育

対象の児童・生徒の
◇数の増加
◇重度・重複化
◇多様化

特別支援学校だけでなく
幼・小・中・高
すべての学校における
特別支援教育の課題を整理

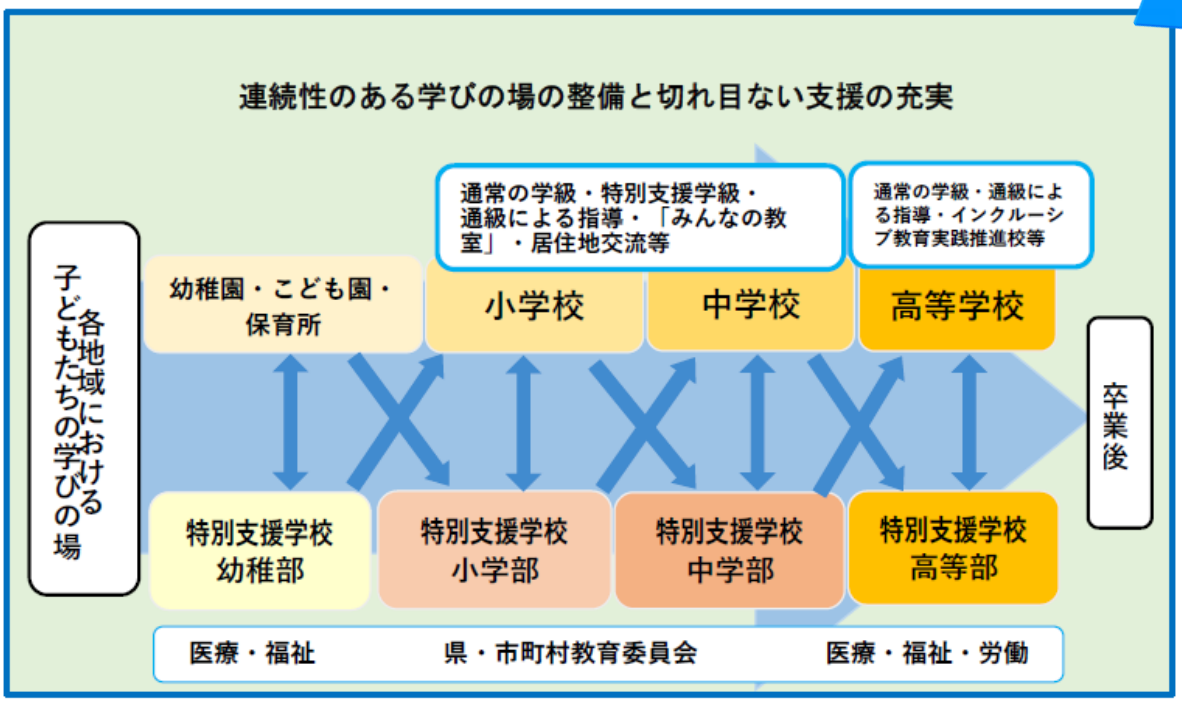


図２　連続性のある学びの場の整備と切れ目ない支援の充実（イメージ）

【「かながわ特別支援教育推進指針」P4】

めざす方向性を表した図です。
矢印の方向に注目です。

めざすものを実現するためにしようとしていること １

令和３年に特別支援学校の
設置基準が定められた

秦野養護学校の末広校舎や
小田原養護学校の湯河原校舎の開設

特別支援学校の充実

在籍児童生徒数の増加

学校の規模や児童生徒の人数に
偏りがないように整備する

居住地に近い学校づくり

通学負担の軽減やインクルーシブ
教育推進の観点から。

高等部知的障害部門

〇受け入れ枠の拡大
〇分教室の整備
〇インクルーシブ教育
　実践推進校の拡大

施設・設備の充実

〇老朽化対策
〇職業教育･キャリア教育の充実
　を図るための施設整備
〇厨房設備の充実のための整備

めざすものを実現するためにしようとしていること ２

医療的ケアの充実

県立特別支援学校

日常的な医療的ケア
＋校外学習などの行事 ・ 通学時の対応

看護師の適正な配置　教職員の研修
安全管理　医療･福祉との連携

市町村の小中学校

各々の市町村で整備を行う

県立特別支援学校のセンター的機能による支援

神奈川県内の市町村立小･中学校
における医療的ケアの実施状況
＜令和元年文科省調査より＞
19 市町村で実施
小学校 61 校　中学校 12 校
小学校 61 人　中学校 12 人

めざすものを実現するためにしようとしていること ３

どの地域に住んでいても
どの学校種に在籍していても
必要な支援
適切な指導
が受けられるように

できるだけ、居住する地域で
共に学び
共にそだつ
インクルーシブな環境づくり

役割分担と連携

県

○県立特別支援学校
の専門性向上

○高校教育段階での
多様な学びの場の充実
⇒県立高校のインクルーシブ
推進校、通級指導

○専門的知見から
市町村教育委員会を支援
⇒**センター的機能の強化**
専門職の配置

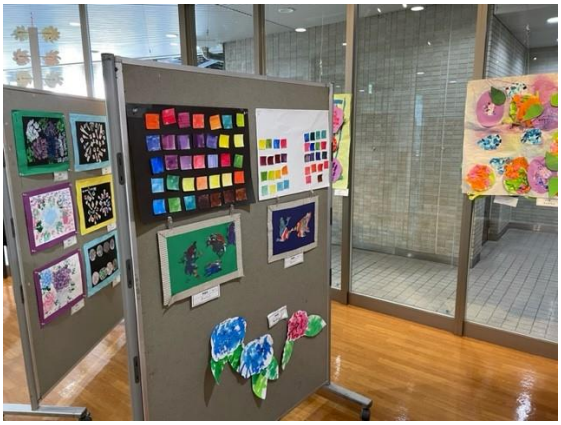
市町村

○義務教育段階の子ども
の就学に係る相談、
適切な就学先の決定

○**一人ひとりの**
教育的ニーズに応じた
効果的な教育課程を
柔軟に編成する

前回と今回で、インクルーシブ教育にまつわる話題について紹介してきました。

障害のある子どもたちも含めて、あらゆる子どもたちがよく学び、よく育ち、よく生きていくことが、当たり前のことになるよう、社会の動きにこれからも目を向けていきたいですね。



おだわら市民交流センターUMECO で作品展を開催しました。お越しくださった皆様ありがとうございます。

小田原養護学校特別展　IN　湯河原社会福祉協議会

12/5（月） ▶ 12/16（金）

9：00～16：00

土日は閉館

12/16 は 14：00 迄

現在、**湯河原社会福祉協議会**のロビーをお借りして作品展を開催しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。